



高知県渋滞対策協議会について

道路の渋滞対策については、かねてより関係行政機関等において検討を行い、改善の取組みを行っていましたが、高知県においては、平成5年に関係機関からなる「高知県渋滞対策協議会(※)」を設立し、各機関の連携による検討体制を整えることで課題の状況を継続的に把握・共有し、効果的な渋滞対策の推進に取り組んできています。

平成24年度からは、最新のデータに基づく客観的な分析や地域性を反映した検討を行い、より正確な渋滞状況の把握や効果的な渋滞対策の検討をしています。

※現在の協議会の構成員(順不同)

国土交通省四国地方整備局、四国運輸局、高知県、高知県警察本部、高知市、安芸市、須崎市、いの町、四万十市、西日本高速道路(株)、高知県道路利用者会議

高知県におけるこれまでの渋滞対策への取り組み (H5~H23)

H5~H9 高知県新渋滞対策プログラム

高知県渋滞対策協議会による初の渋滞対策計画の立案および実施

H10~H16 高知県第3次渋滞対策プログラム

高知県新渋滞対策プログラムのフォローアップ調査結果を受けて、新たに対策箇所を選定

H17~H20 CO₂削減アクションプログラム

渋滞対策協議会で渋滞ポイントを決定

・ 第3次渋滞対策プログラム+ 追加調査による渋滞が確認された箇所

≫ うち、H24を目処に対策が終了する箇所をCO₂削減アクションプログラムに登録

H21~H23 混雑箇所の特定及び対策の実施

データ(VICS、プローブデータ等)及びアンケート結果(事業者・一般道路利用者)をもとに混雑箇所を特定

≫ 各交差点における対策案を検討、随時、対策事業を実施